

平成24年7月23日～24日 富山県射水市・新潟県糸魚川市

●バイオマスの利活用
射 水市では、平成21年1月に「バイオマスタウン構想書」が完成し、公表されました。利活用方法のハード事業では、市内のバイオマスで堆肥および炭化製品の製造や、年間3000トンの排出されるもみ殻から燃料を製造し、灰は堆肥や化粧品、エコタイヤ、純度の高いものは太陽光パネルの原料となります。

●ジオパークの推進
糸 魚川市は、世界最古のヒスイ文化発祥地であり、日本で初めて世界ジオパークに認定されたことで知られていますが、その取り組みは古くから行われていました。ジオパークは、世界遺産と同じくユネスコが支援するプログラムですが、保護するだけでなく、学習活動やジオツーリズムなど観光を通じて科学の普及や地域振興につなげる取り組みです。

産業建設常任委員会



小瀧川ヒスイ峡

平成24年7月18日～19日 青森県

●ファシリテイト マネジメント
青 森県のファシリテイトマネジメント事業は、施設、設備などをはじめとする財産を経営資産として捉え、戦略的かつ、適正に管理、活用していく手法で、次の4本の柱を立てています。
 ①「コスト削減」
 ②「適正運用」
 ③「資産管理」
 ④「新たな施設経営手法」
 取り組みの成果で売却実績では、平成17年度から平成22年度までの6年間で、96件16億2072万1千円の売却があったとのことでした。

●滞納整理の取り組み
本 年4月に発足した青森県市町村税滞納整理機構は滞納整理に特化した組織で、青森県内36市町村から徴収権の移管を受けた滞納整理を、差押えや公売などの滞納整理を迅速かつ、効率的に処理することにより、徴収率の向上および滞納額の縮減を図るために設置されました。



REPORT 視察研修

今後のまちづくりや議会運営に生かします。

平成24年7月4日～5日 福井県坂井市・富山県黒部市

●介護予防と、広域連合による介護保険運営
坂 井地区広域連合は、福井県あわら市と坂井市で構成され、広域化の目的は介護保険料の統一、訪問調査の適正化、介護サービスの平準化、共同処理事務の効率化と合理化です。所得段階別介護保険料の第5期（平成24～26年度）の第6段階基準額保険料（月額）は5400円であり、見直しのために増加しています。広域連合による地域支援事業の介護予防事業として、日常生活支援総合事業を導入し、包括的支援事業は、生活・介護支援サポーター事業を実施しています。

●地域医療の取り組み
黒 部市民病院は、中核病院として他の病院と共に新しい医療圏を形成しています。診療科は23科（院内標榜科を含め31科）であり、地域の開業医や病院との懸け橋となっており、患者が満足できる医療が受けられるように対応しています。地域医療支援センターには、地域医療連携室・地域医療保健室・在宅介護支援センターがあり、退院後の療養生活を不安なく送ることができるよう支援しています。また、がん診療センターは、緩和ケア・化学療法・相談支援の他、がん患者会の支援や啓発活動、研修なども行っています。



厚生文教常任委員会

議員の権限

豊後大野市議会基本条例の制定

市民の負託に応え、議会改革を展開するために、市議会と議員の果たすべき役割を明文化し、議会活性化の取り組みに実効性と継続性を持たせるために、本条例を制定するものです。

地球温暖化対策に関する「地方財源の確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全などの森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。

よって、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」の早急な構築に向けて国の関係機関に対し意見書の提出を行うものです。

東九州自動車道北九州～大分～宮崎間の平成26年度までの全線開通を求める意見書

東九州自動車道は、沿線にある福岡、大分、宮崎および鹿児島4県の住民にとって、その早期完成は悲願となっており、北九州～大分～宮崎間の一体的な供用に向け、佐伯～蒲江間についても他の区間に合わせ、平成26年度に前倒しして供用することが必要である。

よって、九州を循環するネットワークの構築に向けた東九州自動車道が早期完成するよう国の関係機関に対し意見書の提出を行うものです。

議会活性化委員会設置に関する決議

議会改革を継続的に取り組むため、調査を行うものです。
 （詳細は10ページ参照）

いずれも全会一致

